

相模だより

能開大のうごき

新任労働基準監督官が来校

さる5月21日および22日、平成10年度採用の新任労働基準監督官が来校しました。「新任労働基準監督官(前期)研修」(労働研修所実施)の一環として本校を訪れたもので「各種工作機械と作業方法」について講義を受けること、併せて校内施設の見学をすることが目的です。同研修は始まって2週間ほど経過していましたが、みなさんは少しも疲れの色を見せず真剣な面持ちで研修を受けておられました。



新任労働基準監督官のみなさん

本校での研修の終わりには本校幹部との「意見交換」の場がもたれ、白 事務局長から励ましの言葉が贈られていました。

神奈川県内施設が連携して広報

例年、本校と神奈川県内の事業団施設(神奈川県雇用促進センター、ポリテクセンター関東、ポリテクカレッジ横浜港)は機会を見つけては連携して広報活動にあたっています。ことしも6月30日に横浜市内の百貨店内のシビルプラザで「雇用促進事業団広報コーナー」を開設、パネルを展示したり、パンフ

レットを配布したりして、来場のみなさんに事業団業務をよりよく知っていただくための広報に努めました。

これはもともと同百貨店で神奈川県労働センターが主催する「臨時大学求人情報コーナー」に隣接して、同県の依頼に基づいて神奈川県雇用促進センターが「職業相談コーナー」を設けることとなった機会に併せて行われたものです。

なお、神奈川県雇用促進センターが行った「職業ガイダンス」には予想を上回る受講者があり、職員はその対応に追われていました。



職業能力開発大学の紹介コーナー



コンピュータによる職業適性検査

キャンパスで 「快適マイワーク」の撮影

昨年に引き続き、労働省が提供する労働行政関係の広報番組「快適マイワーク」で、本校を取り上げていただくこととなり（7月19日放送済み）、そのための撮影がさる6月25日および26日の2日間行われました。番組は本校長期課程の福祉工学科3年生の日常生活をとおして、「自分の能力を生かして社会の役にたちたい」と願いながら本校で日夜勉学に励むその姿を中心に紹介したものでした。撮影に関してはテレビ局のディレクターを中心に、カメラ、照明、音声担当の4人がかりで15分の放送のためにまる2日間が費やされ、精力的な撮影が行われました。

さて、そのかいがあって放映後には視聴者から長期課程入学に関して多数のお問い合わせをいただき、その反響の大きさに驚きもし、感謝もしたとこ



インタビューを受ける女子学生



キャンパス内で精力的な撮影が行われた

ろです。本校のためにこのような機会を与えてくださった方々に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

中国労働部・職業訓練 指導員養成センター カウンターパート研修終了

本誌7月号でお知らせしたように、中国労働部・職業訓練指導員養成センタープロジェクトに

関して中国から3名のカウンターパートが来日、本校内で5月11日から約2ヵ月間に及ぶ研修を受けておられました。

研修の分野は、「制御技術」、「情報技術」および「自動車技術」ですが、そのほか「指導技法」についても研修を受けておられました。そして、さる7月17日には3人とも無事研修を終えられ、修了式が行われました。



中国カウンターパートのみなさん（3人の男性）



修了書を手し早川校長（中央右）を囲んで